

旭川市 新型コロナウイルス情報

【詳細】新型コロナウイルス感染症対策担当 代表 ☎26・1111 (内線5661)

●ワクチンに関する相談 ☎25・3501
●発熱等の症状がある場合 ☎25・1201

市内の状況 (2/20現在)

現在の状況

行政検査実施人数(延)	161,126人
感染者数(延)	7,477人
死亡者数	125人



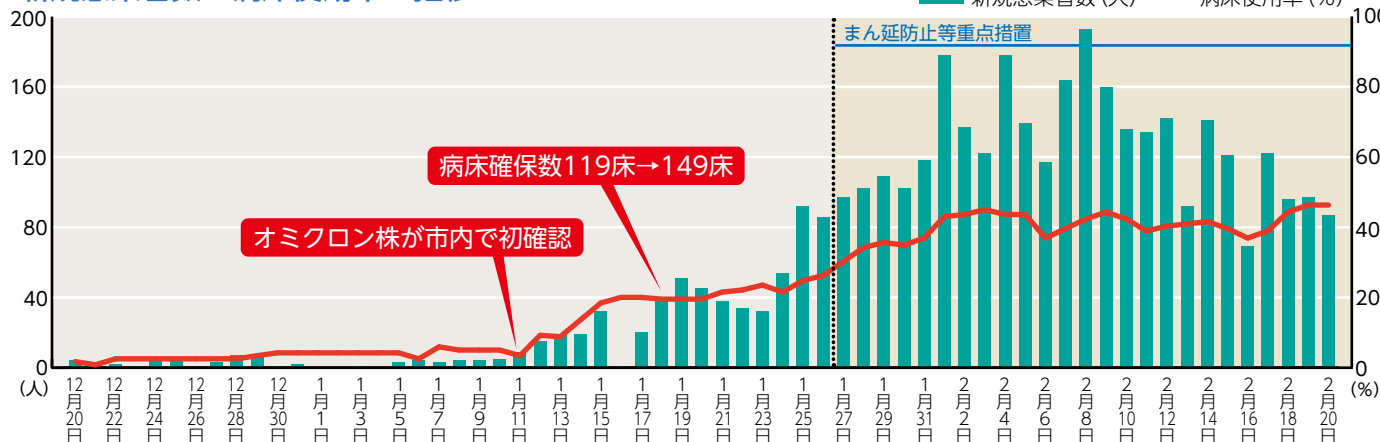
最新の発生状況

ワクチン接種状況

※接種対象人数は令和3年1/1時点

接種対象者	1回目接種人数(接種率)	2回目接種人数(接種率)	3回目接種人数(接種率)
全体 331,397人	263,946人(79.6%)	262,220人(79.1%)	34,521人(10.4%)
12歳以上 304,124人	263,946人(86.8%)	262,220人(86.2%)	—
18歳以上 287,737人	—	—	34,521人(12.0%)

新規感染者数・病床使用率の推移



発熱等の症状がある場合の受診について (3/31(木)まで)

発熱等の症状がある場合は、必ず事前に「かかりつけ医」か「新型コロナウイルス感染症健康相談窓口」に電話をしてから受診してください。

かかりつけ医がいる

かかりつけ医に電話

かかりつけ医がない

新型コロナウイルス感染症健康相談窓口 ☎25・1201

電話やインターネットでの予約が難しい方は、予約サポートセンターへお越しください

下記センターでは、対面で接種予約を受け付けます

開設期間 5/31(火)まで (平日8:45~17:15)

予約サポートセンター一覧

- 中央 (6の9 総合庁舎1階)
- 神居 (神居2の9 神居支所内)
- 江丹別 (江丹別町中央 江丹別市民交流センター内)
- 永山 (永山3の19 永山市民交流センター内)
- 東旭川 (東旭川北1の6 東旭川支所内)
- 神楽 (神楽3の6 神楽市民交流センター内)
- 西神楽 (西神楽南2の3 西神楽市民交流センター内)
- 東鷹栖 (東鷹栖4の3 東鷹栖地域センター内)
- 東部 (豊岡3の3 東部まちづくりセンター内)

※予約サポートセンターは、支所等内に設置している専用窓口です。支所等の通常窓口では、予約などはできません。

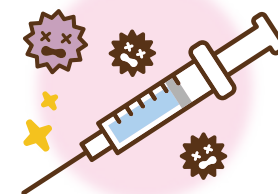
ワクチン接種の電話予約は 新型コロナワクチンコールセンター 開設時間=8:45~17:15 (土・日曜日、祝日を含む)
予約・相談 ☎25・3501 予約専用 ☎0570・050・160

薬剤師さんに聞きました! Vol.2

ワクチン接種Q&A



薬剤師 長塚健太さん



旭川市新型コロナワクチン接種特設サイトはこちら

アンド

3回目の追加接種が始まりました。2種類のワクチンの有効性や違いなどについて、教わりました。

Q

ワクチン接種はしたいけど、武田/モデルナ社製ワクチンの接種が少し不安です。どこで相談できますか

A

多くの市民にとって、武田/モデルナ社製ワクチンは初めての使用になり、不安や疑問を抱く方が多いと思います。「追加接種ではモデルナの接種量が半になるってニュースで聞いたけど、どうなの?」「変異株には効かないってインターネットの記事に書いてあったけど本当?」など、不安や疑問がある方は、イオンモール旭川駅前の集団接種会場に開設している「薬剤師相談コーナー」で事前にご相談ください。また、旭川薬剤師会では、公式TwitterやFacebookのダイレクトメッセージ機能で相談を受け付けています。スマートフォンなどからいつでも相談できますので、お気軽にご利用ください。皆さんが納得して接種できるよう、薬剤師がお手伝いします。

旭川薬剤師会



Q

ファイザー社製と武田/モデルナ社製ワクチンに違いはありますか

A

ワクチン接種には、感染予防、発症予防、重症化予防など様々な有効性があります。旭川市で使われているファイザー社製と武田/モデルナ社製ワクチンは、両方ともmRNAワクチンという新たな技術が用いられています。臨床試験等のデータによると、どちらのワクチンも有効性が高く、安全に免疫を獲得できるものであると考えられます。

アメリカの研究結果では、初回接種がファイザー社製の場合、追加接種をファイザー社製ではなく武田/モデルナ社製で行うことにより、中和抗体の量が多くなるといわれています。しかし、この違いについては不明な点も多く、今後さらなる研究が必要です。



Q

武田/モデルナ社製ワクチンは副反応が強くなるイメージがあります。実際はいかがですか

A

武田/モデルナ社製ワクチンは、ファイザー社製と比較すると、副反応の発生頻度がわずかに高い傾向にありますが、過度に恐れる必要はありません。主な症状は発熱や頭痛・筋肉痛、疲労感で、両者に大きな違いは見られず、数日中に軽快するため、どちらのワクチンを接種しても、解熱鎮痛剤の使用や職場のスケジュール調整などで、十分に対処が可能です。

Q

追加接種にはどのような効果がありますか

A

mRNAワクチンの効果は、初回接種完了から時間が経つにつれ、低下していくことが分かっています。追加接種には、低下した免疫を再度高める効果があり、感染症の収束にとっても重要です。また、オミクロン株に関しても、ワクチンによって獲得できる免疫は、実際の感染で得る免疫に比べて効果が高いといわれています。特に重症化リスクが高い方、就業上の感染リスクが高い方、他の感染防止対策を徹底できない小さなお子様などには、追加接種に限らず、初回からのワクチン接種をお勧めします。

2つのmRNAワクチンは、どちらも十分な有効性が示されています。ワクチンの種類にこだわらず、より多くの方が早期に追加接種を受けることを推奨します。

